

はばたき

橋北小学校
学校だより
No.24
令和3年1月21日

はやいもので、ふと気づけば1月も後半となりました。代表委員会の子どもたちが設定した1月の目標は「外に出て体をあたためよう」です。この目標どおり、子どもたちは休み時間になると運動場に飛び出して、なわとびの練習やサッカー、一輪車等で楽しそうに体を動かしています。



今年、インフルエンザは、まだ流行っていないようですが、例年であればインフルエンザの流行が心配される時期です。新型コロナは相変わらず猛威を振るっており、感染症予防にも今まで以上に気持ちを引きしめて取り組んでいく必要があります。

学校では引き続き、換気や手洗い、ソーシャルディスタンス、マスクの着用等を指導していきますが、ご家庭におかれましても生活リズムを整えていただき、手洗い・うがい・マスクの着用など、予防に心がけていただきますようお願いいたします。

◆予告なしの避難訓練

1月15日(金)、20分休みに、予告なしの避難訓練を行いました。「震度5の地震」という設定です。子どもたちは、教室やろうか、フリースペース、運動場等様々な場所で過ごしていましたが、教頭先生の「揺れがおさまりました。避難しましょう」という内容の放送を聞いた後、避難場所に集合しました。

今年は、東日本大震災から10年を迎える年です。地震は、いつ、どこで起こるかわかりません。東日本大震災が起こった14時46分は、学校で授業を受けている子どもたちもいます。水曜日であれば、下校途中の子どもたちもたくさんいると思います。避難訓練の後、「もしもの時に備えて、できうる準備はすべてしておきましょう」という話をしました。ご家庭の非常食や避難用の持出リュック等をいっしょに準備・点検等をしていただいたり、登下校中、地震が起こったらどうするか?家族がそれぞれ学校や会社にいた場合はどうするか?等、ご家族で話し合ったりしていただけると、子どもたちの意識も高まるのではないのでしょうか。

橋北小学校の子どもたちは、防災フェスタや各学級で防災について学んでいます。そこで学んだ知識を活かして、「自分で考え、判断し、行動できる人」になってほしいと思います。



みんなのための特別支援教育

みなさん「特別支援教育」はご存じでしょうか？「なんとなく耳にしたことはあるな～」や「こんな学習しているらしいね！」など、さまざまなお答えがあるかと思います！今回は、特別支援教育についてみなさんにご紹介したいと思います！！

○「特別支援教育」とは・・・

障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

(文部科学省HP https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main.htm (2020年4月閲覧)より)

なんだか、すこし難しい言葉が並んでいるなと思った方いませんか？
簡単に言うと次のような教育です。

「子どもたちの充実した学びのために、適切な支援を行う」

この特別支援教育は、

障害のあるなしに関わらず、すべての子どもたちに大切なもの です。

そのため、橋北小学校でも、全てのクラスにおいて、個別に必要な支援を必要に応じておこなっています！子どもたちが「〇〇の文章題苦手だな～」「〇〇を覚えるの難しいな～」などと感じたときに、どのように困っているのかな？をつかみ、できた！わかった！が積み重ねられる支援ができれば、子どもたちの学びは充実します。

これからも、みなさんとともに、子どもたちの充実した学びのために、一緒に考えていきたいと思っています。

特別支援教育に関する情報発信として、「特別支援教育通信」を橋北小学校HP（特別支援教育）に掲載しております！ぜひ、ご覧ください！

橋北小学校



知りたいことやご相談等ありましたら、特別支援教育コーディネーターにお知らせください！

